



おにぎり通信

2010年1月9日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

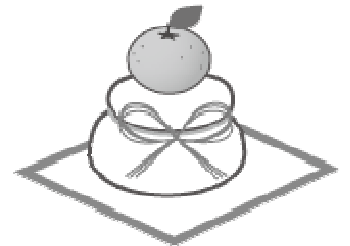
こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

新年あけましておめでとうございます。

昨年中はご協力を誠にありがとうございました。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

年が明けて2度目の訪問活動になりますが、先週はお会いできなかった方や久しぶりにお会いする方もいらっしゃることでしょう。寒波の影響で冷え込みの厳しいお正月となりましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。



☆ 福祉行動報告 12/28

- 1) Aさん 56歳 今後の生活の相談を、福祉事務所でされました。
- 2) Bさん 42歳 寮への入所希望。当日入寮できました。

次回の福祉行動:1月12日(火)、東京駅丸の内北口タクシー乗り場前に、朝8時半までに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行いますが、月曜日が休日の場合は翌日の火曜日となります。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1中央区役所4階
千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

※ 毎年冬の時期には、2週間だけ体を休めるという形で、緊急一時保護センターなどを
利用することが可能になります。12月から3月上旬まで受付をしています。東京23区の各
福祉事務所で、申し込みができます。

東京都が年末年始に住む場所がない人を受け入れている「国立オリンピック記念青少年総合センター」の入所者が三十一日、七百三十六人に達した。当初予定していた定員五百人の宿泊棟が満杯になり、別の宿泊棟を開放。千三百人まで受け入れ可能とした。

埼玉県の資材工場で十二月に派遣切りに遭い、路上生活をしていた男性（55）は「食事を食べ、よく眠れて体調が回復した。来年は安定した仕事に就き、普通の生活をしたい」と話した。

しかし、生活相談の窓口では、生活保護や住宅手当の申請はできず、「話を聞かれるだけ」という声も。都は四日の閉所後も「路上に戻らないよう対応する」としているが、行き先が決まるのは三日以降になる。

一年前、約五百人の失職者らがあふれた日比谷公園は、人も少なくひっそり。日比谷公園で「年越し派遣村」を開いた実行委員会の有志らが、新宿区の公園にテントを張り、オリンピック記念センターに入る手続きなどを支援した。

東京新聞1/1 より一部抜粋

昨年11月の段階で完全失業率が5.2%で、1年前に比べ完全失業者の数は75万人の増加ということでした。なんとも厳しい数字で、年末年始に開かれた公設派遣村も予定していた利用者数をはるかに上回り、隣接施設を開放し宿泊場所を増やすという対応がとられました。いかに困窮した状態で見過ごされている人が多いかを物語っていると思います。こうした状態で明るい見通しを持つというのは困難なことではありますが、それでも2010年が昨年よりは良い年になるよう願わずにはられません。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはなるべくその日のうちにお早めにお召し上がり下さい。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田) 090-4121-3721(新井)